



# ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2025年1月1日

1月 275号

奈良・人と自然の会



＜ならやまの昼休み みんなで仲良く食事中＞



## Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>

明けましておめでとうございます	1	海外ボランティア (パラグアイ) 14	9
ならやまプロジェクト	2	旅の記憶	10
Monthly Repo ならやま	3	やさしい病害虫講座 (何を散布しようか-2)	11
里山の今 (里山、エコ)	4	きょうみ森森	12
復活 新ソバ祭・レポ	5	ならやま投句箱	13
月例研修会 (晩秋の櫻井) レポ	6	行事案内、変わりだねの昆虫たち	14
芋煮会レポ	7	幹事会報告、会員動向、行事予告	15
回想の山旅④ (スペイン・アンダルシア)	8		

# 明けましておめでとうございます

千載 輝重

昨年も、地球温暖化の影響か、酷暑の中、著しい雑草の繁茂にも悩まされましたが、皆様のご協力で大過なく活動することができました。けれども、安全面では事故が多発。大事故にはならなかったことに感謝しつつ、糧として、今年こそは事故ゼロを目指します。

今年は乙巳(きのとみ)の年。乙は「軋む(きしむ)」を意味し、木の陰のエネルギーによって、植物が成長して軋みをもたらすほどに広がり、柔軟性や調和をたもちながら成長する様を、巳は豊穰や金運を司る神聖な生き物で、脱皮を繰り返しながら成長することから、「再生」や「不老長寿」などを意味します。大化の改新(乙巳の変)はその象徴的な事件かもしれません。

私たちが乙巳にあやかり、これまでに積み上げ成熟したエネルギーを脱皮・再生に向けてより高見を目指したいものです。今年も、みんなで考え、みんなで進むために新春交流会を予定しています。ぜひとも現実も認識しつつ脱皮・再生を語りあうことができると願っています。

さりとして、平均年齢「喜寿」の高齢者集団としてはもっと肩の力を抜いてはどうかと思うこともあります。一書店の店主が書いたユーモアある戒めをご笑読され、年の初めにちょっと気楽になってみるのもいいかもしれません。

『年を取ったら』六戒 天牛新一郎  
(昭和62年朝日新聞投稿 当時94歳)

年を取ったらでしゃばらず  
憎まれ口に泣き言に  
人のかげ口 愚痴いわず  
他人のことは褒めなはれ  
聞かれりゃ教えてあげても  
知っていることでも知らぬふり  
いつでもアホでいるこっちゃ



勝ったらあかん負けなはれ  
いずれお世話になる身なら  
若いもんには花持たせ  
一步下がってゆずるのが  
円満にいくコツですわ  
いつも感謝を忘れずに  
どんな時でもへえおおきに



お金の欲は捨てなはれ  
なんぼゼニカネあっても  
死んだら持っていけまへん  
あの人エエ人でしたなあ  
そないに人から言われるよう  
生きているうちにバラまいて  
山ほど徳を積みなはれ



というのはそれは表向き  
ほんまにゼニを離さずに  
死ぬまでしっかり持ってなはれ  
人にケチやといわれても  
お金があるから大事にし  
みんなベンチャラいうてくれる  
内緒やけどほんまだっせ



昔のことはみな忘れ  
自慢ばなしはしなはんな  
わたらの時代はもう過ぎた  
なんぼ頑張り力んでも  
身体がいうことききまへん  
あんたはえらいわしゃあかん  
そんな気持ちでおりなはれ

わが子に孫に世間さま  
どなたからでも慕われる  
ええ年寄りになりなはれ  
ボケたらあかんそのために  
頭の洗濯生きがい  
なにか一つの趣味持って  
せいぜい長生きしなはれや



# ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず  
あなたも私も・力合わせて

本格的な冬がやってきた。木々は葉を落とし、雪国からは大雪の便りが届く。スキー場は久しぶりに大賑わいの様子。地球温暖化が心配されているのにとっても寒い。

ベースキャンプの焚火の周りには人の輪ができる。お昼に提供される熱々の豚汁は作業で疲れて冷え切った体を温めてくれる。身も心も温かくなると与太話が弾む。本当にありがたい。

今年はすでに6件の事故が発生していたが、さらに12月に2件の事故が発生した。残念ながら、今年も安全面では禍根が残る。

いよいよ今年もあと少し、新年を迎えるための恒例の門松づくりの準備が進む。内外の社会情勢は混沌としているが、何とか私たちの活動は新しく年はいい年であってほしいと願う。

実りの森では大王レモンが大きな実をつけている。私たちの育てきたならやまが結ぶ大きな実はどんなものだろう。



大きな実をつけた大王レモン  
(実りの森)

## 1月の活動特記事項 活動日：9(木), 16(木), 25(土), 30(木)

1月9日(木)：初出式 10年継続会員記念植樹

1月18日(土)：新春交流会

## 1月の各グループ活動予定

グループ	活動予定
里山	遊びの森ホダ場と遊具の整備、老朽薪棚解体整理、松枯れ材整理 菌打ち用檜木と植樹の準備、薪材運搬・薪割り、門松後片付け
エコファーム	豆類の誘引、各種野菜の収穫、畑へのチップ入れ 堆肥場整備、鹿害予防ネットの整備
景観	整備：竹林の整備 ビオ：池・水路の景観保全・整備 花：道路沿い花壇・山野草園の草引き
パトロール	1～3コースパトロール、観察路整備、植物保護柵・案内表示の整備
果樹	甘夏の収穫、果樹の剪定、寒肥施肥 実りの森の清掃・灌木整理・土壌改良

活動日：第4土曜日およびその他の週の木曜日 9:00～15:00

前日の17時発表の気象庁予報(NHKTV(奈良)19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



## Monthly Repo. ならやま

富井 忠雄

11月23日(土) 晴 41名+1名(近大生)

19日に近大生7名と当会員4名で実施したタナゴ池水抜きと生物調査の報告。新そば祭り用の水の確保のため、水タンクに水を入れて持って来るようお願い。シイタケがたくさん収穫できた。

エコGはレタス、サラダ菜などの移植後、防虫ネット張り、ナス、万願寺など収穫。景観GはBC西側の竹林整備。花班はジャーマンアイリスの花壇の草引き。ビオ班は近大生1名とタナゴ池の改修状態の調査。里山G、パトロールGは参加者が少ないため作業無し。



11月28日(木) 晴 70名

蕎麦クラブを中心に各Gも手伝って、新そば祭りを行う。

里山Gは伐倒木の玉切り、薪の引き取りの手伝い、シイタケ収穫。エコGは玉葱苗の植付け、大根、水菜の間引き、堆肥作り、ビーマンなど収穫。景観GはBC西側の竹林整備。花班は花壇の草引きなど。ビオ班はクワイの収穫、南水田東側の水路の補修工事など。パトロールGは観察路1コースのパトロール、棚用の竹切り、観察路案内板の確認など。果樹Gは実りの森果樹に施肥、コンポスト棚内への刈草投入など。

12月5日(木) 晴 70名

エコG中心に各Gが手伝って芋煮会を行う。里山Gは楢木用コナラの伐倒、里山林内の整備、枯死木の伐採処理など。エコGは里芋の皮むき、玉葱の植付け、日野菜、小かぶなどの収穫。景観Gは竹林の整備。花班は草引きなど。ビオ班は南水田東側の水路の改修。パトロール班は観察路2コースのパトロール、丸太階段補修、緑陰広場の橋の撤去など。果樹Gは新田さんを講師に招き、剪定を中心とした講習会を行う。

12月12日(木) 晴 66名

今日から豚汁の提供が始まった。最近、怪我、事故などが多いので注意喚起。

里山Gはコナラなど大木の伐採、薪割りなど。エコGは鹿除けネットの補修、畑の草刈り、ジャガイモ、大根などの収穫。景観GはBC西側竹林整備とチップ作業。花班は山野草園の草引き。ビオ班は南水田の東側のクワイの収穫。パトロールGは観察路3コースのパトロール、観察路草刈り、樹木銘板の取付け、緑陰広場の橋の改修、ミーティング。果樹Gは実りの森の除草、橋の収穫。

12月19日(木) 曇り 59名

初雪が降る寒い中、参加者が少なかった。豚汁の提供があった。26日のミニ門松作り参加者の募集。先週、活動中に起きた事故の報告と、「危険予知」の重要性を含めて注意喚起。

里山Gは特別安全講習会、門松作りの準備、薪割り。エコGは玉葱畑に追肥、周辺の除草、チップ入れと耕運機での耕作、大根などの収穫。景観Gは雑草と竹の刈取りなど。花班は花菖蒲の刈取りと腐葉土入れ。ビオ班は水当番のため作業無し。パトロールGは観察路1コースのパトロール、観察路の安全ロープ張り、緑陰広場の橋の改修。果樹Gはブルーベリーの植え替えと土壌のPH調整、ウコンの収穫など。

里山グループ

里山の今

エコファームグループ

非危険生物

美味しい野菜作り

清原 正彦

冨江 文雄

会員歴20年近くになるKさん。ほぼ毎日「ならやま」に足を運び、自然観察や観察路の整備などに精を出していらっしゃいます。山中を歩いていると、「こんな所にこんな野草が!」、「あれはめったに見かけない小動物だ!」とうれしい発見に心が躍ると話されていました。Kさんの自然の隅々にまで目を注ぎ、優しく見守る姿勢に尊敬と共感を覚えます。

先日も、可愛いアサギマダラの出現に多くの方々が「どこ!」「どこ!」とスマホ片手に写真を撮っておられ微笑ましい光景でした。

その一方で、ニョロニョロと這い出たヘビを見た途端、親の敵とばかりに打ち殺そうとする人も。幸いにも棒はヘビを直撃せずすぐに保護。見ると無毒でおとなしいシロマダラの幼蛇でした。



11月も、みんなで昼食を撮っていると、私の顔の周りを大きなスズメバチが飛び始め、なかなか立ち去ろうとしません。頭に乗ったり、耳に抱き着いたり、あげくは鼻の穴をのぞき込んだり。きっと越冬場所を探しているのだろうとじっとしていたら飛び立っていきました。彼らはむやみに人を襲ったりはしません。こちらから危害を加えない限り危険はないと考えられます。ならやまに生息すると思われる主な有害生物は、マムシ、ヤマカガシ、スズメバチ、ムカデ、ドクガ、マダニなどでしょうが、彼らもアサギマダラ同様ならやまの生態系の大事な構成員で、存在意義があるはず。

正しい知識を身につけて、慌てず落ち着いて対処したいですね。

私がこの会に入って、即エコファームの活動に参加、今で約6年になる。本人が高齢化の真ん中にいると同時に、グループ全体が同じ方向に向かっており(これは会自身の問題でもあるが)、確実に年を取っていく。一方で若い人が入ってこない点、強い危機感を抱いている。農業は労働集約型であると思う。

第一に肥沃な土地を維持管理することにある。その為には常なるメンテナンス作業が最も大切で、収穫後チップ/有機肥料の投入と深い耕し、更には小石の除去等を丹念に行うことが必要とされる。これを怠ると土が栄養不足になり作物が次第に劣化してしまうし、病虫害に侵されやすくなる。ただ、この作業は繰り返し行う、地味で労力がある仕事である。

次に来るのは雑草の除去でしょう、出来るだけ小さなうちに根こそぎ取ってしまうのが最高のやり方であるが、つつい後回しにしてしまい、気づいた時には手の施しようもない状態になる時がある。真夏の炎天下での除草は本当に辛い作業である。雑草の生命力は計り知れない。

さらに近年起こってきたのは鹿への対策が頭の痛い問題で、鹿愛護会に捕獲を依頼しても、最近では見にもこない。

エコファームとしては3年前からネットを張って守っており、ある程度の効果は得られているが、支柱を竹でやった為、2年程度しか持たない。基礎を丈夫な鉄やプラスチック杭等を使えば良いのだろうが、費用との相談になる。

以上色々解決すべき問題はあれど、何とか美味しい季節の野菜を提供すべく努力している。



令和6年度 そば文化クラブ

## 復活 新そば祭りレポ

太田 和則

平成30年以来7年ぶりの「新そば祭り」が11月28日、ならやまBCで開催された。

平成22年、笹藪を切り拓いた荒地の活用策としてそば栽培が取り上げられ、「畑づくりからそば打ちまで」を合言葉に、全くの素人十数名が、そばの栽培とそば打ち技術の習得にチャレンジした。「新そば祭り」は、その成果を会員の前で披露する、真剣勝負の晴れ舞台だった。

ならやま秋の名物の「新そば祭り」は、平成30年、そば栽培の中止とともに今日まで中断されていた。その間にも、そば打ちを愛するメンバーは、そば打ちの技に磨きをかけ、その成果をご披露する機会を待ち望んでいたのである。

「新そば」とは、秋に収穫された玄そばを12月初め頃までに製粉したものをいう。そばの味は、何ととってもそば粉。「ならやま産」のそば粉は天下一品だったが、今回は北海道で定評のある「美瑛産」を使う。これを「挽きたて、打ちたて、茹でたて」の「3たてそば」で召し上がっていただくという趣向である。



<茹でたての麺を氷水で締め、ハイお待ち・・・!>

最も苦勞するのはタイミング。薪の釜の火加減、茹でる量と時間、水で洗い氷水で締めて配膳台のザルにのせる。まさに数分の勝負である。

そばの食べ方はいろいろあるが、新そば祭りの出し物は「ぶっかけそば」、これに天ぷらを添える。これで腹に物足りない方には、そば粥と玉こんにゃくを用意した。



<開始の合図と同時に行列ができる。>

今回は久々の新そば祭りに70名の参加があり、各グループからも応援をいただいた。途中皆さんから“美味しい”“コシがあって良い”の声を聞き、メンバーは嬉しさを顔が緩み放し。



<千載会長 早くて力強いそば打ち>

特に盛り上がったのは、飛び入り参加の奮闘ぶりだ。富江さん、本当に初めてで大苦戦。果たしてそばになった?? 経験者の竹村さん、無駄のない手さばき、出来上がり姿も素晴らしい。そばクラブにスカウトしますか。

現状のクラブ会員は17名、講師1名の18名が常時参加。また食客(見学と試食)は500円で参加いただけます。興味のある方、この少し厄介で面倒なそば打ちにトライしてみませんか!  
そば文化クラブ一同

## 月例研修会レポ

### 晩秋の桜井茶白山古墳と 忍坂街道・多武峰街道

有元 康人

12月3日(火曜日)つい先日まで暑い暑いと言っていた日本の気候、やっと来た秋の気配、気持ちの良い研修日和になりました。

参加人数は23名、バスに乗り桜井駅へ。

今回の例会はボランティアガイド2名に案内をお願いし2班で行動しました。

桜井駅でボランティアガイドと合流し、茶白山古墳に行きました。

茶白山古墳は、鳥見山の尾根を削って作った前方後円墳で、全長200mの大きな古墳です。作られたのは3世紀後半で、内部から玉杖や玉類・剣等が出土し、また石室の区画に作られた丸太垣(玉垣)が話題になった古墳です。

茶白山古墳の見学の後、桜井から宇陀へ抜ける忍坂古道に入り、忍坂山麓に広がる歴史の町忍阪、バスから降りて最初に神籠石を見ました。神武天皇の東征の際この地にいた八十建を討つため、この石を隠れ盾として戦った大石です。

舒明天皇が埋葬されている我が国初の八角墳、鏡の王女の墓、大伴皇女忍阪内墓とその周辺の多武峰や音羽山など、紅葉も含め素晴らしい風景を見ながら、古い街並みと調和した歴史の街を散策しました。



昼食は石位寺。管理している方をお願いし、

お寺を開放してもらい、お寺の説明と川の氾濫で流れ着いたとされる白鳳時代に作られた三尊石仏を見て、小春日和の中、昼食をとりました。

昼食の後、忍阪を離れ、天皇の中で唯一暗殺された崇峻天皇の陵といわれている赤坂天王山古墳に行きました。入り口が低く膝をついて中に入ると意外と広い石室、懐中電灯で石棺を照らすと写真のように立派な石棺が現れました。



次は談山神社。着くなり素晴らしい紅葉でしばし写真撮影、どこを見ても絶景です。中大兄



皇子と中臣鎌足が曾我入鹿を打つ談合の場所、藤原氏が建立した木造十三重塔や神殿を廻り、同時に開催されていた藤原鎌足

公展を見学しました。

今日の日程は談山神社ですべて終了。桜井駅でボランティアガイドのお二人を見送り、その後のバスの中では、恒例の昭和歌謡の熱唱、奈良まではあっという間。

素晴らしい紅葉と歴史を十分楽しめた一日でした。皆さんお疲れさまでした。

観光案内をしていただいた、桜井ボランティアガイドの森本さん、東田さん、安全運転をしていただいた生駒交通の運転手さんに、心からお礼を申し上げます。

# 芋煮会レポ

山上 伸子

こんにちは 僕は里芋太郎！！

今日は12月5日の芋煮会をレポするよ～  
おにぎり2種(白と黒米入り各1個)、漬物もあるんだよ～

里芋は新たに仕入れた「大野芋」と「海老芋」。「猛暑の影響で成長が悪く小粒の芋だよ」とエコグループの人たちは言うけど、どうしてどうして立派な里芋に成長したよ、自慢の味です♪  
芋煮を作ってくれるのはエコグループの皆



さんと賄いの皆さん、助っ人さんたちです。  
早速準備開始。今日の主役、僕たち里芋は男性有志が皮剥きをします。「包丁の扱いが・・・ネバネバで滑るな・・・」と、悪戦苦闘。賄いの皆さん&助っ人さんは着々と準備、鍋の中には、牛肉、こんにゃく、にんじん、椎茸、牛蒡等・・・秋の味覚がいっぱいだよ。そして・・・主役の僕たち、ツルツルほっこりの里芋が入ります。

秋が溢れそう♪♪完成！！「いただきま～す」里山に明るい声がこだまします。「皆さん、お味は



如何ですか～」「美味しいよ～」「味付けはどうしたん？」と、ほっこり笑顔が溢れま

す。デザートはYさん差し入れの団子、三色・餡・みたらしの三種類あるけど「御一人様一個だよ～」と、Sさんのするどい声が飛んだ～

芋煮とおにぎり、団子でお腹がいっぱいになって午後からの作業、頑張れそうだね～

僕のために準備してくださった皆さん、料理してくださった皆さん、片付けしてくださった皆さん、ありがとうございました。里芋の僕も幸せです！ 又来年を楽しみにしていま～す♪



余談ですが・・・里芋のお話 <本日の調味料>  
大野芋は、福井県東部にある大野市の上庄地区で生産されているブランド里芋です。以前はあまり知られていなかった品種ですが、約20年前から徐々に広まり、全国的な人気を誇るようになりました。晩夏から秋にかけての温度差が激しい地域で、その気候により里芋が美味しくなると言われています。大野芋は身がしまっていて煮崩れしにくいのが特徴で、加熱するとねっとりして舌触りも良好です。形は雫型のようなシルエットで、大きすぎず小さすぎず、コロコロとしています。でんぷんを多く含んでいるのも特徴の一つです。



海老芋は肉質がきめ細かく、ねっとりとした食感。煮崩れしにくく食味に優れています。生産量は静岡県が多いですが、京都の伝統野菜としても人気の食材です。特に品質のよいものは高級料亭などでも使用されています。形がエビのように曲がっているのが特徴で、栽培時に丹念に土寄せして育てることで湾曲した形になります。煮崩れしにくいので煮物が最適です。





回想の山旅④

スペイン・アンダルシア

「Mt La Concha コンチャ(1215m)」

中井 弘

定年を迎えたのを機に、スペイン南部に2～3年の長期移住を計画した。この地を選んだ動機は、まずは生活費が安いこと、1年を通して温暖で雨の少ない地中海性気候であること。スペイン語学校や病院が近くにあること。さらに車でヨーロッパ各国をドライブで行ける位置にあること等。それが地中海に面したスペイン南部のアンダルシア州マルベージャ市であった。

ここには樹林に覆われた山を持つ日本とは別の文化がある。灼熱の太陽による光と影の世界、真っ白な家並み、広大なブドウ畑、花々に飾られた自慢のパティオ。闘牛やフラメンコの発祥地、スペインの歴史の中心地でもある。

8世紀以降、アフリカからジブラルタル海峡を渡ってイベリア半島に侵入したイスラム勢力は、圧倒的な戦力でスペインをイスラム化していった。800余年に亘ってイスラム教徒の本拠地となったスペインを、1492年レコンキスタ(国土回復運動)によってキリスト教勢力がイスラム勢力を駆逐した。グラナダにはアルハンブラ宮殿をはじめイスラム建築の傑作が数多く残され、すばらしい世界遺産の数々である。

生活も落ち着き、先ず自宅から近い裏山の「コンチャ山」に登ることにした。この山は石灰岩になる岩山だが麓にはオリーブ、傘マツ・ユーカリ・コルク樅などが点在する。中腹の村落に車を置き、流れの少ない沢浴いを登ると展望が開け、マルベージャの白い市街が朝の新鮮な太陽で輝いている。光線の具合で刻々と趣を変えていく地中海が輝きをもって広がり、対岸にはアフリカ大陸の最北端、モロッコの山々が遠望できる。

この山の中腹には樹木は無いが、草花が地面いっぱい生えていて、見たこともない花々は

可憐で美しい。・・がすべてに棘がある。カラタチ、ノイバラ、ユズもある。その中の小径を登る。綿パンを通して棘が刺し込み、とても痛い。進むも戻るも針地獄、稜線が眼前に見えるが痛くて進めずしばしば佇んでしまう。いろいろな蘭の花が美しく咲き乱れているが、至る所盗掘されていてこれも痛々しい。

こんな短い尾根を4時間半も掛かってようやく稜線の登山道「ファナールの十字架」に出るがタイムオーバーとなり、来た道を引き返した。

今日こそは主峰に立つべく別のルートを探る。傾斜地に散在した農家の鶏鳴を聞きながら、背丈以上の団扇サボテンの生垣の間を登る。農村の裏は石垣に囲まれたオリーブや野菜の農園だ。先日とは異なるよく踏まれた道を登り、前回引き返した稜線に出た。

主峰に向かって瘦尾根の登山道を縦走する。やがて「狼の跳躍台」と呼ばれる三方崖の岩峰で行き止まる、先行の登山者トニーのザイルを借りて尾根上に降り立つ。彼によるとヒマラヤの5km峰を登攀したという登山家だ。麓で登山用品店を経営しているという。

左右切り立った稜線を行くと最高峰「コンチャ山」に登り着いた。少し霞んでいるが展望に文句は無い。足下はマルベージャ市に切れ落ち、地中海が広がる海岸は、ヨーロッパ有数のリゾート・コスタデルソル(太陽海岸)である。ヨットハーバーや我がアパートの辺りも微かに望みできた。下山は稜線の裏側の道を取り、広大なオリーブ樹園を下る。モロッコ人と思われる大勢の労働者が働いている。所々桜に似たアーモンドが満開で、図らずも思わぬ花見ができた。

(コンチャ山全貌)

(コンチャ山山頂にて)



帰宅後、短パンに着替えアパート中庭のBARにてチョット上等のワインで初登頂に乾杯!

海外ボランティア活動体験記-14  
パラグアイ (1997-2002)

木村 裕

パラグアイ人にとって、木陰に集まってテレレの回し飲みは大きな娯楽です。またサッカーは国民的な娯楽で、多くの人たちが空き地でボールを蹴っています。

一方、私たち外国人には手ごろな娯楽はありません。とくに同伴者の奥様方にとっては長い一日が続きます。

私たちにとって唯一の娯楽はゴルフでした。日本での経験がなかったにも拘わらず、街はずれのゴルフ場に出かけました。プレー代もキャディ代も安く、キャディの言うがままに棒を振っていましたので、プレーの回数のわりには上達しませんでした。

通常海外生活では任国内の旅行が楽しみのひとつですが、パラグアイは山がない平坦な国でしたので見たいような観光地もなく困りました。唯一の観光地は国境を越えたブラジル側にあるイグアスの滝でした。二度ばかり訪問しましたが、原始林の中を流れ落ちる数多くの滝は世界三大瀑布と言われるように素晴らしいものでした。とくに雨季の水量の多いときは圧巻で遊歩道まで水しぶきがとんでいました。



ブラジルのカーニバルは有名ですが、パラグアイではほとんど行われていません。唯一ブラジルの国境近くの街で行われているのを見に行きました。しかし規模的には小さなもので、行列の合間の水鉄砲による水のかけあいの方が盛りあがって濡れネズミにされました。

日系旅行社がときどき JICA 派遣の人たちを対象に催す、アルパ演奏会、日本人歌手の歌会、ビンダンス鑑賞などにも参加しました。



奥様方の娯楽はニヤンドティという刺繍でした。一枚の布に色系を通し、花、生き物などをつくりあげます。非常に手間のかかる作業で、毎週奥様方が集まって、現地人の先生から指導を受けていました。日本人ばかりですので、日本語での会話がはずみ、情報交換の場にもなったようですが、一方閉ざされた社会ですのでそれなりに気苦勞もあつたようです。

**旅の記憶 豪華客船の旅**

2024年8月5日~15日

池田 富美子



ダイヤモンドプリンセス

94才と88才の老人2人旅。  
ダイヤモンドプリンセス(全長290m。総トン数115,906トン。乗客定員2706名。乗組員1100名)10泊豪華客船の旅。3回目である。

8月5日、横浜大棧橋までは自力で到着する。横浜の大棧橋で乗船手続きを終え、客室へ移動する。



阿波踊り

船室は、バルコニー付き2人部屋(大きな荷物は船室に置いておけるので便利)である。

午後5時出航し、乗船後すぐから飲み放題・食べ放題の食事をする。船内メニューの多いフルコースでは、食べ放題なので気を付けないと体重2Kgがすぐに増加する!(前回経験済み)。夜のフルコースもお替り自由だ。



船上のプール

夜は船上、昼間はエスカレーションに参加する。夜はフォーマルナイトで、思い思いのおしゃれな衣装に身を包み写真撮影、ダンスなど楽しみは尽きない。



よさこい踊り

船の前方、後方の劇場(1000人収容)ではラスベガスショーや映画などがあり、どこに行こうかと迷う。迷って劇場についたら、なんとショーは終演近く。少ししか見ることができなくて残念!



シャンパンタワー

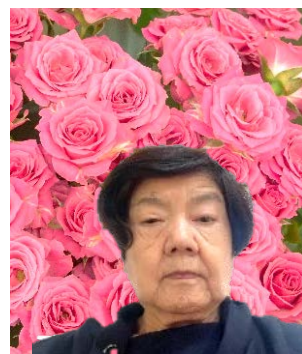


おかわり自由の豪華な食事

今回の旅は、「青森のねぶた祭り」「徳島の阿波踊り」「高知のよさこい踊り」をめぐる旅でもあり、日本の夏祭りを堪能した。

翌日は、釜山入港。観光は前回しているので、今回は昼食付き買い物ツアーの方に参加して、焼き肉定食を食べた後、お土産などの買い物をして船に戻った。

8月9日に境港に入港して、シャトルバスで港温泉銭湯へ。身も軽く、魚市場でカニとエビのネタの大きいにぎり寿司のあばれ食いを食す。とてもおいしかったが体重が…?



フォーマルナイト



デザートも豊富

何回行っても楽しい船旅。あと何回行けるかなあ。写真は遺影にしようかなあ。今年も元気で参加できることを願いながら、もう寝ようっと!

やさしい病害虫講座

防除薬剤は何がよいのだろう？—2

木村 裕

病害虫防除に欠かせない農薬は、万能ではありません。どの薬剤も対象となる作物名、病害虫名、散布濃度、使用時期などが容器または添付資料に記されているのでよく読んで使ってください。そして安全で品質のよい収穫物がたくさん得られることを期待しております。

毛虫やヨトウムシ、ハモグリバエなどいろいろな虫に対してはアフーム乳剤が抜群によく効きます。とくに蛾やチョウの幼虫に対しては言うことなしです。



毛虫類

葉に褐色の斑紋や白いカビなどいろいろな病気に対しては発生初期にダコニール1000の散布がよく効きます。特にうどんこ病の発生がひどい時にはトリフミン水和剤を使います。



うどんこ病



斑紋や斑点の病気

ハダニやホコリダニに対して通常の殺虫剤やスプレー剤はまったく効かず、逆に有益な天敵をみんな殺しています。結果としてハダニに塩を送っていることになり、ハダニさんたちは大喜びでわんさか増えます。殺ダニ剤は価格が高く、園芸店でもほとんど置いていません。唯一あるのはダニ太郎とバロックフロアブル剤です。しかも20cc包装の製品のみです。



ハダニ類

園芸店ではどこでもマラソン乳剤、スミチオン乳剤が安い値段で販売されています。いろいろな害虫に効きますが、私個人の感想としては効きが甘くお勧めではありません。オルトランも切れ味の点でちょっと。トレボン乳剤は値段も手ごろでよく効いて良い薬剤ですが、葉の裏に潜んでいる虫に対しては効果がないので、アブラムシなどに対しては切れ味が悪いです。

水に溶かした薬液はその日に使い切るのが原則ですが、短時日のうちに使う予定があるのなら保管もありかと。

# きょうみ 森森

このコーナーは、会員の紹介をいたします。  
 仲間の新たな魅力をお伝えするものです。  
**今回は、吉田 英子 さん (2020年入会)**

私の好きな言葉は、「感動」です。

「人と自然の会」の魅力は、みなさんがやさしく、楽しんで、懸命に活動されている様子を見られるところです。

初恋は、中学1年生のとき。いつも私を見守ってくれた人です。

タイムマシンに乗れるとしたら、日本国内の名所めぐりがしたいです。まずは夫と、もう一度北九州方面に新婚旅行に行きたいです。

今、私が熱中していることは「万葉集」をかな文字で書くおけいこです。私のお気に入り得意とする文字は「ゆ」です。

私の好きなスポーツは、バレーボールです。中学時代も高校時代も9人制のバレーボール部で活動し、ポジションは後衛センターでした。



吉田英子さんは、小柄でがんばり屋さん。家事を切り盛りし、大家族に尽くしてこられたので、看取るときも、ご家族から感謝のことばをかけられたという尊いお話を語っていただきました。カワラナデシコの花言葉にふさわしいですね。

私がかつての自分にことばをかけるとしたら、「その小さい体で、よくぞ大家族を支えてきたねえ」とねぎらいたいです。

ペットとの思い出。昔、猫を飼っていました。玉猫でしたが、忠犬ハチ公のように夫が帰宅する時刻になると、表の石の上でじっと待っていたのをよく覚えています。愛称は「たまちゃん」です。

幸せだと思う瞬間は、「今、健康で生活ができています」です。

私の好きな花は「カワラナデシコ」です。



カワラナデシコ  
 花言葉は「想いをのせて」

今後の目標は、「ボケないで、ならやまの活動に長く参加できること」です。

# 新ならやま投句箱

## 俳句

風に散りゆく木の葉舞うごとく	菊川 年明
里の道今、黄葉の万華鏡	羽尻 崇
冬枯れにエンドウの新芽鮮やか	小島 武雄
喉あらい寒氣流れて頭刺す	八木 順一
冬麗めじろ迎える残り柿	千載 輝重
流れ星かすかに見えた寒い朝	富江 文雄
紅葉遅れ談山神社は輝きて	阿部 和生
春日の杜パッチワークにもみずりて	鈴木 末一
草を引き耕す畑去年今年	藤原 勲
暖かい焚火の周り煙の中	田中 善英
元旦や平城宮跡風乱舞	國方 まり子
征く風に命託して草の絮 <small>わた</small>	山本 美智子
光浴び木の芽膨らむ季節 <small>とき</small> まだか	中井 弘
川柳	武ちゃん
恨めしいふわふわ温し日向猫	



新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後ともよろしく願いたします。

人の輪も火の輪に負ける冬の朝 順ちゃん

ウクライナよガザ地区よ被団連非核述べる ノールベル

師も誰も走り回って句が来ない 待ちぼうけ

焚火守る手があちらこちらから フランカー

新年やお金がつり年女 草引き名人

奈良走るサンタも鹿もミヤクミヤクも 猫じやら子

もう少し生きていたいね誕生日 ミーチャン

## 短歌

友からの机の上の年賀状

早く呼んでよ奈良の都に 内河 洋文

旅立ちぬ面影揺れる虚しさに

貴方を偲ぶ有明の月 谷川 雅邦

ならやまの薪割りの手を休ませば

水仙の香やはのかに立ちて 清原 加代子

鶴鶴が水浴びしている寒い朝

丸めた私の背中を伸ばした 戸田 博子

常夏で四季の樂しみ無い国へ

紅葉の錦持つて行きたし 豊田 浩代

# 行事案内



## 変わりだねの昆虫たち

菊川 年明

### 新春交流会・懇親会のご案内

富井 忠雄

昨年に引き続き新春交流会を以下のとおり開催いたします。

昨年は各グループから活動状況をわかりやすく説明いただき、全体の活動についてかなり共有することができました。今年は、会の運営や諸活動、他のグループの活動について、前もっていただいた疑問や提案の中から、テーマを選んでみんなで話し合うことで、より活動への理解を深めることができると考えています。

ぜひとも多くの方にご参加いただき、これからの活動のために知恵を貸していただければと思います。

- \*これってどういうこと？
- \*こんな風にしたらいいんじゃないの？
- \*みんなで考えてみよう！
- \*みんなが向かうべき方向が見える！

#### <新春交流会>

日時：2025年1月18日(土) 13時～

場所：奈良市中央公民館

#### <新春懇親会>

交流会後近鉄奈良駅より電車で新大宮駅へ

場所：一条本店(新大宮駅前) 16時～19時

会費：4000円(飲み放題付)

\*申込は、A:交流会、B 懇親会

それぞれについてご連絡をお願いします

申込先：富井忠雄

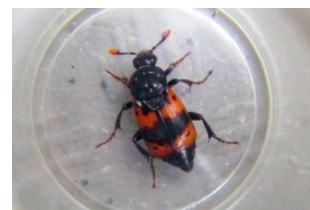
世話人：太田、田中、富井



ならやまに生息する昆虫で、少し風変わりな習性のものを少しご紹介します。

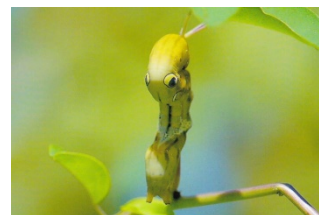
#### 1 夫婦で子供を育てる

シテムシという甲虫のグループがあります。このグループは地上を住みかとし、動物の死骸などを食べています。このグループの中にヨツボシモンシテムシ(写真)とクロシテムシという昆虫がいます。この両種は昆虫としては全く珍しい夫婦(雌雄)で子育てをします。鳥類の夫婦は一緒に子育てをしますが、高等動物でない昆虫がこのような高度なことをするのは驚きです。



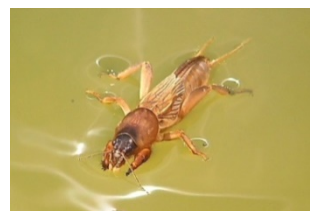
#### 2 怪物に化けて身を守る

アケビコノハというガの幼虫は背中に大きな目玉模様があり、それがよく目立つようなポーズをとることによって天敵の野鳥を驚かせます。因みに成虫のガは翅が枯葉そっくり(擬態)です。



#### 3 空中・地上・地中・水上どこでも自在

ケラという昆虫がいます。コオロギに近縁で普段は畑の地中などにおいてミミズや草の根などを食べています。前脚はトンネルを掘るのに適したパワーシャベルのような形をしていて、さながらモグラのようです。しかも、空中を飛ぶことも地上を走ることも水上を泳ぐこともできます。普通の鳴く虫はオスしか鳴きませんがケラは雌雄ともに鳴きます。鳴き声はオスは「ビーー」、メスは短音です。何でも来い? の昆虫です。



**2024年12月度幹事会報告**

開催日：11月26日

I.はじめに

- ・奈良県景観自然環境課を訪問し、使用協定地域について報告

II.会計・総務より

- ・会員動向：会員数128名(家族12名)  
入会 竹村禎男さん
- ・会計：収支報告

III.活動・行事に関する議題・懸案・確認

1.3ヶ月活動スケジュール検討・確認

- ・2/15のシイタケイベント日程調整
- ・1/27佐保川小学校の自然教室について

2.ならやまプロジェクト関係

- ・芋煮会のスタッフ：各グループ2名参加
- ・12/5果樹グループで講習会実施

3.イベント関係

- ・11/9 芋掘りイベント：参加者61名、スタッフ15名参加。
- ・11/28 新そば祭：蕎麦打ちデモ実施
- ・12/5 芋煮会：里芋の皮むきなど協力
- ・1/9 初出式・10年継続会員記念植樹  
植樹はフェイジョア1本、雨天→1/10
- ・迎春準備：干支作りは実施せず

IV.助成金関係

- ・来年度助成について申請検討中

V.特定議題

- ・新春交流会の実施内容  
交流会 1/18実施、2時間の予定  
活動に対する意見交換、懇親会実施

VI.広報関係

- ・1月号の編成、執筆者の確認

VII.報告・連絡事項、その他

1.月例研修会

- ・12/3 忍坂街道・多武峰街道 空き1名

2.自然教室

- ・1/27 佐保川小学校学習支援自然教室

次回幹事会は12/24(火) 中部公民館 14:00



秋に、実りの森へ行く登り道の左側斜面一面を黄色い花で覆い尽くしている草が有り、以前から気になっていた。どうもその草がならやまのあちらこちらにも増えてきているように感じ、調べてみた。

セイタカアワダチソウというように北アメリカ原産の帰化植物で種子に加えて地下茎でも増え、外来種ワースト100にも選ばれている。根から周囲の植物の生長を抑制する化学物質を出し、他の植物を駆逐し繁殖したのが左側斜面の状況だったようだ。しかし後にススキ等によって抑えられるのであまり心配は無さそう。そういえば今年は左側斜面の上の方にススキが生えてきている。北アメリカでは逆にススキが侵略的外来種として猛威を振るっているらしい。



ススキとセイタカアワダチソウの攻防

\*\*\*\*\*

**2月ならやま活動&行事予告**

\*ならやま活動

2/6 協働活動日

2/15(土)シイタケイベント

会員動向(敬称略)

<入会者>11/23 竹村 禎男(タムラヨシオ)

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

編集委員：青木(幸)・尾崎・清原(加)

柴田・千載・田中・戸田

写真説明：ならやまの昼休み(ベースキャンプのベンチで仲良く食事中)